

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	北上済生会病院救急医療等事業補助金			
■事業開始年度	平成22年度			
■評価事業コード	040200 - 107	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	01 地域医療の充実		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	地域医療を充実し、市民の安全な暮らしを守る。 特別交付税の交付規定で公的病院にも、救急医療・周産期医療・小児医療等の機能が交付税措置の対象となったこと。救急医療の医療機能については、岩手中部地域病院群輪番制運営補助金を差引いた分を補助。周産期医療については、県から補助されるので補助しない。小児医療については、基準額どおりの補助とする。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01	北上済生会病院救急医療等事業補助金	北上済生会病院・市民	北上済生会病院への救急医療事業等に対する補助 補助金額: 70,396千円	北上済生会病院への救急医療事業等に対する補助 補助金額: 67,323千円

3. 投入コスト情報

(単位: 千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	77,303	77,300	70,397	67,323	
人件費	865	76	382	74	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	78,168	77,376	70,779	67,397	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	外来患者数	86,310人	88,523人	93,216人	85,214人	済生会病院の改善計画の外来患者数を目標値としたのに対し、実績値では計画数値を下回った。
02	入院患者数	69,055人	73,807人	74,335人	71,388人	済生会病院の改善計画の入院患者数を目標値としたのに対し、実績値では計画数値を下回った。

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

04	フルコスト÷患者数	0.50千円	0.47千円	0.42千円	0.43千円	特別交付税の小児医療の算定基準が減額となった。
----	-----------	--------	--------	--------	--------	-------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 補助金額が減額になっているにもかかわらず、外来・入院利用者が減少しているため、コストの減額になっていない。	問題点・課題等 特別交付税の算定基準が改訂になったことで、今後の補助額の協議が必要である。
1. 直接的な受益者の範囲 ☒ 不特定多数に及ぶ ☐ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☒ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小